

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業		
小事業	01	みくに龍翔館管理運営事業			02	みくに龍翔館展示事業			他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			みくに龍翔館
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、文化振興基本法				
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管する。

【事業の概要】

- ◆みくに龍翔館管理運営事業 本庁 30,617千円
 - 賃金 臨時職員賃金（3名） 6,896千円
 - 報償費 講師謝礼、協力者謝礼、委員謝礼、指導謝礼 601千円
 - 需用費 消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本被ほか 8,842千円
 - 役務費 通信運搬費、手数料、保険料 661千円
 - 委託料 施設管理委託料、樹木管理委託料ほか 12,976千円
 - 使用料及び賃借料 事務機器借上料・山車借上料等 334千円
 - 備品購入費 施設用備品・展示用備品・図書購入 297千円
 - 負担金 県博物館協議会等負担金他 10千円
- ◆みくに龍翔館展示事業 本庁 2,537千円
 - 報償費 指導謝礼、展示借上謝礼 425千円
 - 旅費 特別旅費 65千円
 - 需用費 消耗品費、印刷製本費 856千円
 - 役務費 運搬費、展示資料損害保険料 1,191千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	26,258	37,281	18,389	△ 11,023
	人件費	20,477	25,711	20,045	△ 5,234
	総事業費	46,735	62,992	38,434	△ 16,257
人員	正職員	2.28 人	2.80 人	2.30 人	△ 0.52 人
	臨時職員	2.70 人	2.70 人		0.00 人
	人員計	4.98 人	5.50 人	2.30 人	△ 0.52 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	3,197	2,986	3,576	211
	一般財源	43,538	60,006	34,858	△ 16,468

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	みくに龍翔館入館者数	人	目標		13,450	13,450	13,750	14,810
			実績			11,548	11,669	13,703
			達成率(%)		0.0	0.0	85.9	84.9
指標の説明								
指標	みくに龍翔館入館料等収入	千円	目標		4,077	4,577	4,187	4,187
			実績			3,197	2,927	3,576
			達成率(%)		0.0	0.0	69.8	69.9
指標の説明		みくに龍翔館入館料、教育費雑入（町誌頒布代、コピー代他）						
指標	新収蔵資料受入数	点	目標		1,000	1,000	2,000	10,000
			実績			334	1,000	7,667
			達成率(%)		0.0	0.0	33.4	50.0
指標の説明		整理・目録化した新収蔵資料の点数						
指標	リニューアル検討委員会開催数	回	目標		4	4	4	1
			実績			3	3	1
			達成率(%)		0.0	0.0	75.0	75.0
指標の説明								
指標に基づく評価	白山開山1300年を記念した特別展をはじめ、各種企画展や講座を開催。例年並みの入館者数を得、市の歴史文化遺産を紹介することができた。みくに龍翔館リニューアル事業では、基本計画を策定中であるが、今後も引き続き、新収蔵資料の受入を進め、リニューアルによる新しい常設展示を見据えた資料収集・調査研究を進めていく。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	開館36年を経過した施設の老朽化への対応や、坂井市全体の歴史文化遺産を対象とする収蔵・展示内容が求められており、館のリニューアル事業を進めている。老朽化した設備の修繕は、リニューアルを考慮の上、実施する必要がある。また展示面でも、常設展示リニューアルに即した資料収集・調査研究を具体的かつ早急に進める必要がある。		
	坂井市合併後は、旧三国町から坂井市全体に対象範囲を広げ、資料収集を行うとともに特別展などを実施してきた。リニューアル事業では、現在、リニューアル基本構想を踏まえ、検討委員会で協議の上、基本計画を策定中である。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	リニューアル基本構想を踏まえ、平成29年度・30年度の2ヶ年度で建築（設備）・展示両面から調査・検討を行い、リニューアル基本計画を策定する。以後、実施設計・改修工事を行い、2022年度のリニューアルオープンをめざす。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			中事業	26	ONOメモリアル管理運営事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			みくに龍翔館
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	有	社会教育法、博物館法、文化振興基本法				
根拠例規	有	坂井市みくに龍翔館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。	
【事業の概要】	
○報償費	97千円
指導謝礼（ふるさと坂井絵画展他）	22千円
賞品（ふるさと坂井絵画展）	75千円
○需用費	540千円
消耗品（施設管理消耗品・大会行事消耗品他）	37千円
印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷）	113千円
光熱水費（電気料・水道料）	337千円
修繕料（施設等修繕料）	53千円
○役務費	79千円
通信運搬料（電話料、切手代）	70千円
火災保険料	9千円
○委託料	1,439千円
施設管理委託料（警備保障、清掃、樹木管理）	906千円
イベント事業委託料他	533千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,155	3,288	1,588	△ 1133
	人件費	5,461	8,153	5,386	△ 2692
	総事業費	7,616	11,441	6,974	△ 3825
人員	正職員	0.72 人	1.10 人	0.70 人	△ 0.38 人
	臨時職員	0.30 人	0.30 2	0.20 人	0.00 人
	人員計	1.02 人	1.40 人	0.90 人	△ 0.38 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,616	11,441	6,974	△ 3825

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ONOメモリアル入館者数	人	目標		500	500	500	500
			実績			234	434	169
			達成率(%)	0.0	0.0	46.8	86.8	33.8
指標の説明								
指標	企画展の回数 （主催事業及び後援事業）	回	目標		2	1	2	1
			実績			1	2	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標		点	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		回	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成30年度開催予定の高校生現代アートビエンナーレは、実行委員会を組織。作品募集や後援依頼などを実施し、事業の充実を図った。ビエンナーレ準備のため、ふるさと坂井絵画展以外の企画は実施できなかったが、常設展示の展示替えもビエンナーレ予定のためできなかった。ONOメモリアルのさらなる活用が求められている。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題		現在、ONOメモリアルは、現代美術等の企画・育成事業による稼働率も低く、十分に活用されているとはいえない。今後も引き続き、より柔軟で効率的な管理運営を図るよう検討していく。
これまでの見直しや改善等の実績	ONOメモリアルの、より柔軟で効率的な管理運営を図るため、民間団体の組織化・育成も検討したが、現代美術という特殊な分野であるため、それに精通した人材も少ないことなどから、実現には至らなかった。 高校生現代アートビエンナーレは、開催前年度から準備し、周知・広報を行うことから、事業の充実を図った。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	ONOメモリアル事業の充実のため、民間団体の組織化・育成を検討したが、今後は、管理運営を指定管理者に移行することも視野に入れ、施設の効率的な管理と現代美術などの企画運営について、見直しを図る。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
実施事業名(小事業)	基本施策					
事業で得られたノウハウや気づき等						